

委員会事業方針・事業計画

総務委員会

担当副理事長 佐々木 篤 史

基本方針

1963年、私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、五所川原青年会議所が設立されました。このまちへの思いは諸先輩方により脈々と受け継がれ、2012年には公益法人格取得を取得し、公益的且つ、健全な運動が行われてきました。私たちは今後も地域から更なる期待と信頼が頂けるよう、公益社団法人としての「自覚」と「責任」を持って、法令を順守し、高い公共性が伴う青年会議所運動を展開していかねばなりません。

その為に、総務委員会では青年会議所の運営の基盤となる、総会・選考委員会委員選挙を行うと共に、各委員会が公益社団法人としての健全な青年会議所運動を全うできるよう、各種定例会を円滑に執り行なう為の根幹となり支えてまいります。また、外部への「迅速な情報公開」を行い、地域へより信頼して頂ける団体としての担いを受け持ってまいります。また、会員が青年会議所という組織について学ぶ機会を設け、強靱かつしなやかな組織運営が永続的に行われるようにいたします。

公益社団法人として自覚を持ち、これからも広く地域から信頼を得ることができる団体として運動展開を支えると共に、強靱な組織へと導くことが、新たな未来への創造を確立できる団体に繋がるものと確信し、1年間邁進してまいります。

委員長 神 康 知

基本方針

五所川原青年会議所は地域社会の健全な発展と次代のひとつづくりによる「明るい豊かな社会」の実現を理想として創立され、2012年に公益社団法人に移行したことから、政令に定める様々な分野の公益目的事業を継続的に行うことにより、公益社団法人としての社会的責務を果たす必要があります。この組織内において総務委員会は組織の潤滑油となるべき重要な立場であることを自覚し、「自主・自律性」に基づく青年会議所運動が円滑に運営されるための土台とならなければなりません。

総務委員会は、執行部・各委員会との連携を取り合いながら、「新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙」を円滑に運営してまいります。加えて、各委員会の活動を迅速にホームページに公開し、地域へ我々の情熱を発信してまいります。また、会員一人一人が先輩諸兄の築きあげてきた「歴史の環」を学び、これからの明るい地域社会を想像し、更なる豊かな地域社会の創造に繋げられるような学びの場となる事業を開催いたします。

大きな責任・覚悟・自覚が求められる組織内において、総務委員会が「定例会の円滑な運営」に務め、青年会議所運動を支えると共に、青年会議所運動の「学び場」となる事業を開催し「強靱な組織づくり」に注力することが栄光の未来への架け橋となると確信し、1年間邁進してまいります。

事業計画並びに事業予算

総会・例会の運営

◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2019年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めていただくことを目的とした事業。

・通信運搬費	51,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	13,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	90,000円	・雑費	1,000円

予算 187,000円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会の2018年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	6,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	3,000円		

予算 53,000円

◎定例会（7月）他1

役員選考委員会委員選挙

当会の2019年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	4,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 19,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2020年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	30,000円
・委託費	3,000円		

予算 50,000円

◎その他の事業 他2

当会会員が公益社団法人としての当会の社会的役割を学び、当会の活動に対して理解を深めるための事業

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	16,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 39,000円

◎褒賞の企画 他1

2019年度の青年会議所運動に貢献・功労したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（LOM内褒賞）

・雑 費 72,000円

予算 72,000円

事業費合計 420,000円

まちづくり委員会

担当副理事長 高橋 美奈

基本方針

近年、多くの地方都市にて少子高齢化や人口の都市部への流出による人口減少が問題となっています。我々の活動エリアも例外ではなく、人口減少に歯止めがかからない状況です。一方で、山や海に囲まれた自然豊かな土地を活かした農業や、立佞武多など観光客を引き寄せる多くの観光資源を有する魅力的なまちでもあります。我々青年経済人としても、この地域を牽引する気概を持ち、まちの魅力をさらに磨きあげ、「地域の特色を活かしたまちづくり」を推し進める必要があります。

まずは、今年度も開催する「市民討議会」は、五所川原の観光資源である「立佞武多」をテーマに、多くの市民や関係諸団体と共に討議することで、市民の想いで満たされたまつり「五所川原立佞武多」の更なる魅力向上に繋がります。そして、地域の特色を再認識し、郷土への誇りを新たにすることで、まちづくり団体としての使命感とリーダーシップを膨らませ、市民と共に新たな賑わいを創出し、地域活性化に繋がります。さらに、地域の諸団体と情報共有をはかり、連携強化に努めてまいります。

我々が、「責任」「覚悟」「自覚」をもち、まちづくりに取り組むことで、人々に響き、地域に響き、さらにより広く巻き込む源となり、地域の魅力の更なる増進や市民参画意識の醸成に繋がり、やがては地域の未来を照らす大きな燈火となるものと確信いたします。

委員長 對馬 幸征

基本方針

私達が住み暮らす愛すべき故郷、奥津軽。この奥津軽も現在の日本経済社会にとって、少子高齢化や若者の都心部への流出による人口減少なども懸念されております。人口流出減少に歯止めをかけるためにも、まちの総合戦略などを考慮しなければなりません。ここは豊かな自然や伝承されてきた農業、観光資源の立佞武多など魅力的なまちでもあります。当会としてまちの魅力を研鑽しながら地域を牽引する気概を持ち、「地域の特色を活かしたまちづくり」をリファインしていく必要があります。

まずは、青年会議所事業の一つの柱「市民討議会」をまちの最大の魅力である「立佞武多」をテーマに開催し、更なる魅力向上のため行政や多くの市民、関係諸団体と連携を図り討議することで「五所川原立佞武多」の進化に寄与いたします。さらに、自然豊かな土地を活かした農業や伝承されてきた文化などのまちの特色を再確認し、まちの賑わいを創出しながら地域活性化の一助に努めるためにも「自らが考え、主体的に行う事業」を開催いたします。

「責任」「覚悟」「自覚」をもち、特色を活かしたまちづくりを推し進めることで、やがてまちや人にインパクトを与え、その余波でさらにより多くの人々が市民参画意識高揚され地域の魅力の更なる増進になることで先行き不透明な地域の未来を照らす一光になるものと確信いたします。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎「自ら考え、主体的に行う事業」定例会（10月）公3

自然豊かな土地を活かした農業や伝承されてきた文化や、まちの特色を再確認し、まちの賑わいを創出し地域活性化に繋がる定例会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	20,000円
・保険料	30,000円	・委託費	200,000円
・雑費	10,000円		

予算 300,000円

※その他の事業

◎2019年度五所川原市民討議会（7月）公3

「五所川原立佞武多」の進化に寄与し、市民参画意識の醸成を目的とした市民討議会

・支払寄付金	300,000円
--------	----------

予算 300,000円

事業費合計 600,000円

青少年委員会

担当副理事長 平 田 浩 介

基本方針

現代の子ども達は、インターネットの普及により家の中に居ながら様々なことができるようになりました。その便利な環境は、家の中に居る時間を増やし、地域の人々との交流、文化や歴史といった郷土の魅力に触れる機会を減少させ「郷土愛」を失わせることに繋がります。また、外で遊ぶことが少なくなり、運動能力の低下、知識や技能、コミュニケーション能力の低下に繋がります。これからの担っていく子ども達が、この時代をたくましく生き抜き成長していくよう、環境を構築していく事が必要です。

その為に、郷土の自然や文化や歴史に触れ、郷土の魅力を感じてもらい、さらには、地域の人々と交流する場を設け、子ども達に郷土への誇りと愛情を持たせる「郷土愛を醸成する機会」の事業を開催いたします。また、「たくましく生き抜く力を醸成する機会」の事業を展開し、知識や技能、コミュニケーション力、創造性を高められるよう、多くの事に挑戦し、自分自身に自信を持たせ、大きな目標と大きな夢に向かって歩める機会を提供していきます。

これからの担っていく子ども達が、いろんな体験を通じてたくましく生き抜く力を身につけ、郷土を誇りに思い、愛することで地域の活性に繋がり、我々が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がっていくものと確信し、1年間邁進してまいります。

委員長 松 谷 朋 典

基本方針

現代の子ども達は、グローバル化により、特にインターネットなど情報通信技術の発展で、様々な情報を瞬時に得ることができる状況のなか生活しております。それにより、外部への意識が高まり、周囲の人々への関心、地域の特異性や伝統への関心が薄れ、「郷土愛」といったものも失われつつあります。また、それに伴うコミュニケーション能力の低下、他人を思いやる気持ちの薄れなど、社会で生き抜くために必要な能力の低下が懸念されます。

そこで、当委員会では郷土の魅力や歴史を再認識させ、地域の自然・文化に触れる体験や地域の人々との交流など、地域の特色・資源を活かした「郷土愛を醸成する機会」の事業を開催することにより、郷土を愛し、気概を持って次代を切り開くことができる人材育成を進めてまいります。さらに、多様な価値観を尊重し、自立心や社会性、創造力を養う「じょっぱりロード」の事業を展開して、多様性を柔軟に受け入れ、たくましく生き抜く力を醸成する機会を創出してまいります。

これからの未来を担う青少年が、郷土に誇りと愛着を持ち、様々な困難へも多様な価値観と創造力でたくましく生き抜き、地域で活躍する人、地域から離れても何らかの形で地域とつながる人へと成長させると確信し、1年間邁進してまいります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎公開定例会（5月）公1

「郷土愛を醸成する事業」（仮称）

子どもたちが郷土を知り、魅力を感じることで「郷土愛」を育む事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	20,000円	・保険料	10,000円
・諸謝費	20,000円	・委託費	100,000円
・雑費	100,000円		

予算 270,000円

◎公開定例会（8月）

「じょっぱりロード2019」（仮称）公1

「徒歩修行」を通じ、協調性や、コミュニケーション能力、創造力を育む公開定例会。

・旅費交通費	300,000円	・通信運搬費	6,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	15,000円
・燃料費	10,000円	・賃借料	30,000円
・保険料	100,000円	・諸謝金	30,000円
・租税公課費	2,000円	・委託費	400,000円
・衛生費	35,000円	・雑費	70,000円

予算 1,098,000円

※その他の事業

◎わんぱく相撲津軽地区大会（5月）公1

わんぱく相撲地区大会の設営及び運営

・通信運搬費	6,000円	・委託費	90,000円
・印刷製本費	10,000円	・保険料	15,000円

予算 121,000円

◎わんぱく相撲全国大会（6月）公1

相撲大国津軽地域より全国大会へ出場子ども達の引率。

・旅費交通費	110,000円	・支払負担費	30,000円
--------	----------	--------	---------

予算 140,000円

◎「じょっぱりロード2019」（仮称）ボランティア研修会・参加者説明会（4月～7月）公1

「じょっぱりロード」の開催を前に、参加学生をサポートするボランティアの研修と、参加学生とその保護者に向けて説明会を行い、事業の円滑な実施を図るとともに、事業への意識向上を促す。

・旅費交通費	60,000円	・通信運搬費	8,000円
・消耗品費	3,000円	・賃借料	32,000円
・委託費	120,000円	・保険料	15,000円
・印刷製本費	55,000円	・雑費	1,000円

予算 294,000円

事業費合計 1,923,000円

まつり委員会

担当副理事長 對馬 央也

基本方針

「天下泰平・国家安泰・五穀豊穰・悪疫退散」の祈りを込め、先人達から紡がれてきた地域の幸せを願うまつり「奥津軽虫と火まつり」。古くから愛されてきたこのまつりは、参加団体の減少や後継者不足等の様々な問題を抱えながらも、神事という不変の部分に敬意を表しつつ時代に即したより良い形へと進化を遂げてまいりました。これからも関係諸団体と連携を図り、まつりのすそ野を広げ地域に根差したまつりへの発展を願い、伝統の燈火を絶やさぬよう運動を展開していかねばなりません。

まずは、この地域の若い世代へ参画を促し、まつりの意義を学んで頂き、子ども達との「まつりを通じたふれあい」からすそ野拡大へと繋げてまいります。また、まつりの参加窓口を整備することにより、地域の人々が参加し易い「身近に感じることができるまつりの構築」を推進してまいります。そして、まつりの伝承・企画・発展の担い手の育成に努め、関係諸団体と連携の下、「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、伝統ある地域のまつりが未来に渡り受け継がれるよう活動してまいります。

神事であり地域のまつりである「奥津軽虫と火まつり」。不変と進化による地域に根差した愛されるまつりの構築を目指し、伝統の燈火を継承していくことでこの地域の「弥栄」に繋がり、延いては「明るい豊かな社会」の実現となるものと確信し、1年間職責を果たせるよう邁進してまいります。

委員長 工藤 智哉

基本方針

継承と発展を繰り返し、脈々と受け継がれてきた地域の幸せを願うまつり「奥津軽虫と火まつり」。本年度で47回目を迎えるこのまつりも、近年ではまつりに携わる人材の不足、地域や企業から成る参加団体の減少、まつり後継者の不足など様々な問題を抱えております。一方で、観客数が徐々に増加の兆しを見せ、かつての賑わいを取り戻しつつあります。この歩みを緩めることなく、先人達から受け継がれてきた伝統の燈火を継承し、地域に根差したまつりの構築と運動を展開していかねばなりません。

まつりのすそ野拡大の為に、高校生や大学生が主体となる親善大使活動を引き続き行い、その中で次代の担い手である五所川原地域の小学生達へ、見て学び体験する、まつりにふれあう機会を作ります。そして、これまでのまつりの足跡を辿りながら、当会会員一人ひとりがこれまでの変遷を学び知識を深める定例会を開催することで新たな担い手の育成に繋げ、伝統ある「奥津軽虫と火まつり」の燈火を絶やすことなく受け継がれるよう活動を展開してまいります。

地域の「弥栄」を祈願する「奥津軽虫と火まつり」。この歴史ある伝統文化を、時代に即した形へと発展させ、地域に根づくまつりのすそ野拡大へと繋げることで、「明るい豊かな社会」の実現となるものと確信し、1年間職責を果たせるよう邁進してまいります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（4月）他2

「奥津軽虫と火まつり」の歴史や由来を当会会員一人ひとりが継承する立場となり、より知識を深めることを目的とした定例会。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	30,000円	・雑費	30,000円

予算 100,000円

◎公開定例会（6月）公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者とともに「天下泰平・国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	1,000円	・通信運搬費	50,000円
・消耗什器備品費	140,000円	・消耗品費	990,000円
・修繕費	16,000円	・印刷製本費	50,000円
・賃借料	165,000円	・保険料	220,000円
・諸謝金	315,000円	・支払負担金	35,000円
・委託費	1,860,000円	・衛生費	183,000円
・雑費	155,000円		

予算 4,180,000円

※その他の事業

◎奥津軽虫と火まつり親善大使事業（3月～6月）公2

高校生・大学生から成る「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃貸料	10,000円
・保険料	30,000円	・委託費	30,000円
・雑費	20,000円		

予算 120,000円

事業費合計 4,400,000円

会員研修委員会

担当副理事長 島 村 豊 次

基本方針

日本青年会議所が掲げる「修練」「奉仕」「友情」の三信条の基、五所川原青年会議所の運動を展開して行く為には、会員数が多いほど多様な知識や経験が生み出され、活動の幅が広がっていきます。昨年、会員数は大幅に増加しましたが、入会していただいた方が今後の地域を担っていく人材になる為に、若手とされる世代が集まり様々な経験を通じ、個々の資質の研鑽に努め、青年会議所の魅力を伝播していかなければなりません。

その為には、入会して間もない新入会員に対してセミナーを行い、団体の理解を深めてまいります。また、新入会員が何を求めているのかといった知的欲求を調査し、それに応える機会を同年代の方と共に行い、見地を深め、共感の輪に繋げていけるように致します。さらには、この地域の担い手になる為に「個々の活動に還元できる知識を学ぶ機会」を企画して、会員一人ひとりの資質の研鑽に努めることで、地域を担っていける人材育成に繋げてまいります。

事業を通して会員一人ひとりが互いに切磋琢磨しあい、資質の研鑽を行う事で、この地域から必要とされる人材に成長していく事で当会の組織醸成に繋がり、我々が目指す「明るい豊かな社会」実現に向けて1年間邁進してまいります。

委員長 野 上 新一郎

基本方針

五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」を実現する活動に取り組み、自分たちの住む地域を想い、共感できる仲間を増やしてきました。これから必要になる活動は、我々が社会人として地域を担っていく人材になるべく、互いに切磋琢磨しあい、個々の活動に還元しながら、会員一人ひとりの資質の向上に努める事が必要です。そうする事で会員の拡大にも繋がっていきます。その活動を地域に広く、青年会議所の魅力を積極的に伝える活動をする事が必要です。

その為には、当委員会が中心になって、「個々の活動に還元できる知識を学ぶ機会」を創出し、更なる人材育成に努めてまいります。また、新入会員に対して青年会議所を知っていただく為に知的欲求を調査し、それに応えていくとともに新たな信頼関係を築いてまいります。その為にも、当委員会では青森ブロック協議会等の会員拡大セミナー等も積極的に参加し、個々の資質の向上に努めるとともに地域を担っていける人材育成に繋げてまいります。

社会人として模範となれる人材を育成する事によって、会員一人ひとりの資質が向上し、この地域を担っていくべき人材に昇華します。更には、当会の発展、地域の発展に繋がっていくものと確信し、一生懸命1年間邁進してまいります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（3月）他2

会員の資質向上を目的とした定例会

・通信運搬費	14,000円	・消耗品費	25,000円
・印刷製本費	18,000円	・賃借料	10,000円
・委託費	20,000円	・保険料	10,000円
・雑費	10,000円		

予算 107,000円

※その他の事業

新入会員セミナー（7月）他2

青年会議所会員としての「基礎」を学ぶセミナー

・通信運搬費	10,000円	・印刷製本費	10,000円
・賃借料	7,000円		

予算 27,000円

◎新入会員事業（10月）他2

青年会議所の魅力を知ってもらうことを目的とした事業

・通信運搬費	20,000円	・印刷製本費	15,000円
・賃借料	10,000円	・委託費	15,000円
・雑費	5,000円		

予算 65,000円

事業費合計 199,000円

会員交流特別室

担当副理事長 島 村 豊 次

基本方針

近年、若者の県外流出や高齢化社会の進展の為、急速な人口減少や地域経済の不安定な状況が続く昨今、五所川原青年会議所も会員の減少は喫緊の問題となっていました。しかし、2018年に多くの仲間が入会いたしました。新年度を迎えるにあたり、入会年数が浅い会員が主体的に事業を企画し、そして事業を通じて会員同士の絆を醸成することで、当会の組織力が存分に発揮できる環境を構築していくことが必要であります。

組織力の底上げの為には、「当会の諸先輩方との交流する機会」の場を設け、交流を通して当会への理解を高めていただき組織の結束力に繋げてまいります。また、「主体的に行う交流事業」の企画・運営を新入会員と共に行う事で会員相互の絆を深めていきます。そして、一年を通し振りかえられる場を企画し、次の年度へと円滑に繋げていきます。会員の方々には「自ら考え実践する機会」を企画・運営をしていただき、事業を通して絆を深め合うことで当会の組織力の底上げに繋げてまいります。

新入会員も含め、会員同士が苦楽を共にすることで一生涯の絆を深めることができます。会員相互が互いを刺激しあい、互いを理解しあうことで組織をより一層強固なものとし、青年会議所運動の広がりを通じて「明るい豊かな社会」実現の為、1年間邁進してまいります。

担当理事 山 田 貴 之

基本方針

近年では若者の都市部への流出や少子高齢化など様々な要因で入会対象者の人口減少は喫緊の問題となっています。しかしながら2018年、五所川原青年会議所は多くの仲間にも恵まれました。新年度を迎えるにあたり、明るい豊かな社会実現の為にリーダーとして活躍しうる人材育成は急務であり、また会員相互の想い、絆を深める機会を設け、当会の組織力を存分に発揮できる環境を構築していかなければなりません。

その為には「当会の諸先輩方との交流する機会」を設け、交流を通して当会組織への理解の深化、思想の深化、当会の歴史を知ることで組織力を高めてまいります。また、「新入会員が主体的に行う交流事業」の企画・運営を新入会員と共に行うことで会員相互の絆を深め、青年会議所の意義や魅力を理解してもらいます。さらに「自ら考え実践する機会」を通して会員同士が友情や絆を深め合うと共に、一年を振り返る場を企画し次なる年度を展望することで、組織力の底上げを行ってまいります。

多くの新入会員が入会した今、事業を通して苦楽を共にすることで強い友情や絆を深めることが出来ます。互いを理解しあうことで組織をより一層強固なものとし、魅力ある団体へとさらに進化して青年会議所運動の広がりを通じ「明るい豊かな社会」実現の為、1年間邁進してまいります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（12月）他2

2019年度を振り返り2020年度を展望する事業の開催

・通信運搬費	6,000円	・印刷製本費	20,000円
・委託費	6,000円	・消耗品費	5,000円
・賃借料	30,000円		

予算 67,000円

※その他の事業

◎OB交流会事業（2月）他1

青年会議所を知るところを目的としてOB交流会開催

・通信運搬費	6,000円	・印刷製本費	20,000円
・委託費	10,000円	・消耗品費	10,000円
・賃借料	10,000円		

予算 56,000円

◎新入会員事業（7月）他1

新入会員が主体的に行う交流事業の開催

・通信運搬費	6,000円	・印刷製本費	20,000円
・委託費	10,000円	・消耗品費	30,000円
・賃借料	10,000円	・消耗品費	15,000円

予算 91,000円

事業費合計 214,000円

認承55周年特別室

室長 田中 宏 明

基本方針

1963年、志高き青年が相集い力を合わせ当会を設立し、翌年、日本J Cの254番目の会員会議所として認承されました。以後、半世紀に渡り「明るい豊かな社会」の創造に向けた運動を継続し、2012年には公益社団法人格へ移行しました。先輩諸兄の弛まぬ努力の下、脈々と紡がれてきた当会の土壌を受け継ぐ私達は、刻々と変化する社会情勢の中、次なる世代を見据え、礎となるべく運動を展開し発信していかなければなりません。

その為には、この半世紀余りに先輩諸兄が行われてきた当会の運動を、会員相互に理解し共有すると共に、変化し続ける地域のニーズを調査・探求し、それに即した「今だからできる。そして今しかできない事業」を地域に向けて発信してまいります。また、当会を支えて下さった地域の皆様や先輩諸兄を始めとした、全ての皆様へ感謝の意を表すると共に、当会の55年の軌跡を報告する場として「認承55周年記念式典・祝賀会」を開催いたします。

社会が加速度的に変化する現在、価値観は多様化し世代間ギャップが広がる中で「明るい豊かな社会」の創造へ向け、創始より弛まぬ努力で紡いできた当会の願いは、この先どの時代の誰にも普遍的な願いと信じ、この1年を精進してまいります。

担当理事 平山 稔 洋

基本方針

1963年、志高き青年が相集い力を合わせ当会を設立し、翌年の認承から記念すべき55周年を迎えることができました。それは、「明るい豊かな社会」を創造し、弛まぬ努力の下この地域と共に礎を築かれてきた先輩諸兄が運動を展開してきた結果であります。その歴史を脈々と紡がれた土壌を受け継ぐ我々現役メンバーは、その燈火を絶やさぬよう、次なる世代を見据えて運動を展開し発信していかなければなりません。

そこで、これまで脈々と紡いできた五所川原青年会議所運動を理解・共有し、個人・地域のニーズの発見と明確化をするための調査・現状分析を行い、それを形にした記念事業「今だからできる。そして今しかできない事業」を展開してまいります。また、55年間先輩諸兄や地域の皆様に支えられながら運動を展開できたことに感謝の意を込め、そしてこれまでの活動実績を報告する場の「認承55周年記念式典・祝賀会」を開催します。

時代の移り変わりや社会構造の変化の中、積極的な変化を求め次なる世代を見据えた運動を展開することで、確かな時代を築く原動力となり確実な一步を踏み出し、やがて「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと信じ1年間精進してまいります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（11月）他3

「認承55周年記念式典」

これまで当会を支えてくださった全ての皆様に感謝の意を表し、55年の軌跡と記念事業の報告をする55周年記念式典

・通信運搬費	47,000円	・消耗品費	7,000円
・印刷製本費	6,000円	・委託費	123,000円
・賃借料	50,000円	・渉外費	108,000円

予算 341,000円

※その他の事業

◎55周年実行委員会（2月～11月の間全8回）他2

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	13,000円
・賃借料	12,000円		

予算 31,000円

◎「認承55周年記念事業」（8月）公3

地域のニーズを基に次なる世代を見据えたまちづくり記念事業

・通信運搬費	50,000円	・消耗品費	100,000円
・印刷製本費	100,000円	・委託費	73,000円
・賃借料	35,000円	・渉外費	70,000円
・雑費	200,000円		

予算 628,000円

事業費合計 1,000,000円

年間事業スケジュール (事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議					
東北地区協議会		ゼミナール開校式 9日(土)	ゼミナール第1講座 泉 16日(土)～17日(日)	ゼミナール第2講座 盛岡 13日(土)～14日(日)	ゼミナール第3講座 福島 13日(土)～14日(日)	ゼミナール第4講座 山形 8日(土)～9日(日)
青森ブロック協議会	役員会議 青森 9日(水) 会員会議所会議 青森 26日(土) アカデミー大学 開校式 第一講座 青森 26日(土) 新春名刺交歓会 青森 26日(土)	役員会議 青森 6日(水) 会員会議所会議 三沢 17日(日)	役員会議 青森 6日(水) 会員会議所会議 弘前 16日(土) アカデミー大学 特別講座 青森 4日(月)	役員会議 青森 3日(水) 会員会議所会議 十和田 18日(水)	役員会議 青森 8日(水) 会員会議所会議 むつ 18日(土) アカデミー大学 第二講座 弘前 11日(土)・12日(日)	役員会議 青森 5月29日(水) 会員会議所会議 八戸11日(火)
総務委員会	新年祝賀会 (HP・SNS運営)	通常総会		事業		
まちづくり委員会						
青少年委員会					定例会 わんぱく相撲津軽地区大会	
まつり委員会				定例会 事業		奥津軽虫と火まつり
会員研修委員会		会員拡大事業	定例会			
会員交流特別室		事業				
認承55周年特別室	実行委員会					

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	サマーコンファレンス					
東北地区協議会	ゼミナール第5講座 八戸 13日(土)～14日(日)		東北青年フォーラム ゼミナール開校式 能代 8月31日(土)～ 9月1日(日)			
青森ブロック協議会	役員会議 青森 26日(水) 会員会議所会議 黒石 26日(土)・27日(日) ブロック大会 黒石 7日(日)		役員会議 青森 4日(水) 会員会議所会議 五所川原 14日(土) 第四講座・開校式 八戸 7日(土)・8日(日)	役員会議 青森 9日(水) 会員会議所会議 黒石 19日(土)	役員会議 青森 10月30日(水) 会員会議所会議 未定 16日(土)	
総務委員会	選考委員会選挙		通常総会			
まちづくり委員会	五所川原市民等議会			定例会		
青少年委員会		定例会 わんぱく相撲全国大会				
まつり委員会						
会員研修委員会	新入会員セミナー			事業		
会員交流特別室	事業					定例会 会員家族交流会
認承55周年特別室		記念事業			記念式典	